

長計書ハ英國人パーマー氏及ビ全バルトン氏カ爲タル貳アリ一ハ會社設立用ノ爲ニシ一ハ市區改正委員會ノ囑托ヲ受ケテ爲タルモノナリ其經費豫算ハパーマー氏ハ五百萬圓バルトン氏ハ六百八十六萬圓ト積算セリ此百八十六萬圓ノ大差ハパーマー氏ハ壹日壹人ノ給水量ヲ拾七ガロントシバルトン氏ハ之ヲ四立方尺トシタルヨリ生スルモノ主要タリ兎モ角何レノ設計ニスルモ五百萬乃至六百八十八萬圓ノ巨額ヲ費サバレバ此目的ヲ達スルコト能ハサルモノナリ然レモ此費額ハ既ニ充分ノ水ヲ四谷ニ致シタル後ノ費用ナリ若シ水源十三里ノ外ヨリ新ニ運河ヲ開鑿シテ水ヲ輸送スルモノトセバ更ニ又巨萬ノ金ヲ要スベシ故ニ六百萬圓ハ大金ハ則チ大金ナレモ工事ノ大ヒナルニ比スレハ甚ダ少額ヲ以テ成就シ得ベキモノナリ我輩ハ諸君ト共ニ此工事ノ速カニ實施アラントチ希望スルモノナリ

○論說及報告

琵琶湖疏水工事第一隧道貫通報告

工學士 田邊 朔 郎

曩ニ工學會誌第六十五號及第六十八號ニ本工事ノ模様ヲ記セシガ今其工事中最難部分ナル千三百四拾間ノ長サ有ル第一隧道即ハチ長等山ノ山脈ヲ通スルモノハ本年二月廿七日午後十一時貫通連絡セリ抑モ此隧道ノ西口ヨリ東方へ四百〇七間四分弱ノ處ニ井狀坑アリテ其坑底ヨリ東西へ向テ堀鑿進行セリ其西方ニ向ツテ進ミタル者ハ嚮キニ工學會誌第六十八號ニ載アル如ク西口ハ明治十九年三月廿日着手シヤフト口ハ全年四月十八日ニ着手シ明治廿年七月九日貫通セリシヤフト及東口間ハ距離九百三拾貳間六分余アリテシヤ

フト口ハ明治十九年四月十八日着手東口ハ明治十九年九月廿六日着手本年二月廿七日貫
 通連絡セリ採業日數千〇三十七日ニシテ一日ノ進行凡五尺四寸之ヲ東西ニ分ツテ計算ス
 レバ東口採業日數八百八十六日進行間數五百八拾三間七分弱一日平均凡三尺九寸五分シ
 ヤフト口採業日數千〇三十七日ニシテ進行間數三百四十九間弱一日平均凡貳尺〇寸貳分
 トナレリシヤフト口ノ進行割合ニ少ナキハ出水ノ爲メニ困難ナリシト白色班斑石ノ尤モ
 堅キ質ニ出會シテ爲メニ進行充分ナラザリシニ依ルト雖モ如斯長隧道ニ對シテ如斯進行
 ナ得タルハ稀ナル幸ト云フヲ得可シ隧道ノ形狀及進行ノ模様ハ綴文ヲ以テ示スヨリモ第
 一圖進行ダイヤグラム及第二圖隧道斷面ニ就テ明カナル可キカ故ニ爰ニ略ス此隧道貫通
 コ付キ其測量ノ方法ハ嚮キニ第六十八號ニ記セルモノト全一ナルモノナルガ故ニ今爰ニ
 其結果ノミチ記セバ充分ナル可シ即ハチ貫通セシ中心線ノ差ハ左ノ通り
 一西ヨリ進ミタル中心線ハ東ノモノヨリ南ニ偏スル貳寸四分五厘
 一西ヨリ進メタル高低線ハ東ノモノヨリ上ニ偏スル〇寸四分
 一東西貫通處迄ニ於ケル隧道内實測間數及三角算定ノ差ハ實測ノ方過多ナルヲ三尺七寸七
 分
 爰ニ此報告ヲ結了スルニ望ミ一言セザルヲ得サルヲアリ即ハチ該測量ヲ擔任セシ本會々
 員嶋田道生丸田本正氏及両口工事主任タリシ丸田本正及山東利一氏等ノ盡力少ナカラズ
 シテ如斯ノ好結果ヲ得タルヲ謝セザル可ラサルヲ是ナリ

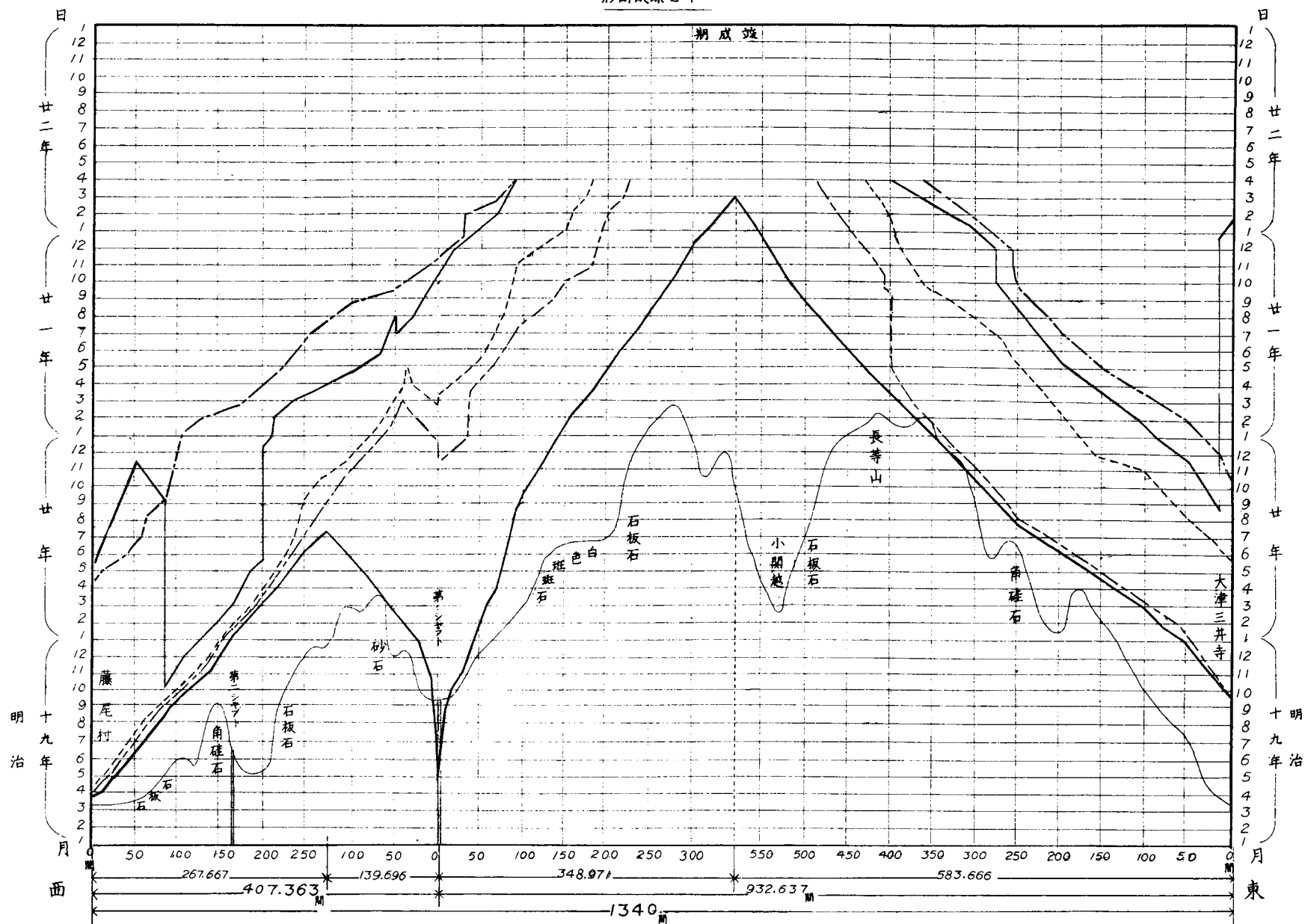
○西字新聞抄譯

第一圖

琵琶湖疏水第一隧道路行進表

第一堀 第二堀 第三堀

登側 形斷線練心中 窪穿



水平尺度 = $\frac{1}{12000}$
 豎尺度 = 一寸二分ヲ以テケ年トス

圖 二 第

圖面斷橫道隧路線水疏湖琵琶
一分十五尺縮

